

平成24年度 上西春別中学校の教育

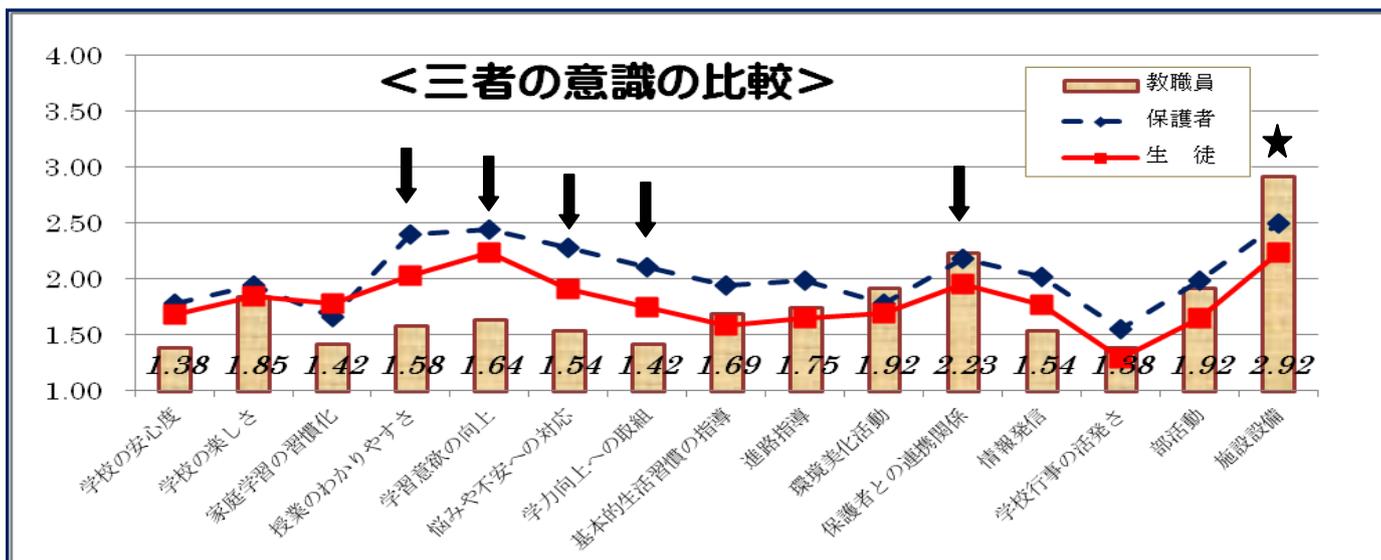
<はじめに>

早いもので、今年度も実質1ヶ月少々となりました。保護者のみなさまや地域の方々のご理解とご協力を得ながら、本校の教育活動を推進して参りました。ご支援頂きましたことに感謝申し上げます。

生徒たちは日々の学習活動や様々な体験を通して、ゆっくりではありますが確かに成長しつつあります。今後も生徒一人一人が自分の可能性を広げ、未来の自分を創造しながら逞しく生きていくための素地を作っていく取り組みを積み重ねて参ります。今後ともご支援の程、よろしくお願い致します。

<今年度の教育活動を振り返り>

昨年11月に学校の教育活動の点検を行うために、生徒及び保護者、教職員を対象に15項目について「学校評価アンケート」を実施致しました。全体的(下図参照)には、不満度は高くはありませんが、三者の意識の相違や不満度の高くなっているところについて、改善を図らなければならないと考えています。また、学習指導においては、改訂学習指導要領の完全実施年であり、指導内容の点検や年間指導計画など教育課程の編成に関わっても点検および改善が必要になってきます。



< 1 : 全く(かなり)そう感じる 2 : 少しそう感じる 3 : あまりそう感じない 4 : 全く(かなり)そう感じない >

上記の表の通り施設設備の項目を除いては、生徒・保護者・教職員それぞれで、不満度の平均2.5を超えるものはありませんが、不満度2.5未満2.0以上の項目についても改善へのアクションが求められます。また、意識の格差の大きいところについても、検証とその対策が必要です。

1. 施設設備について

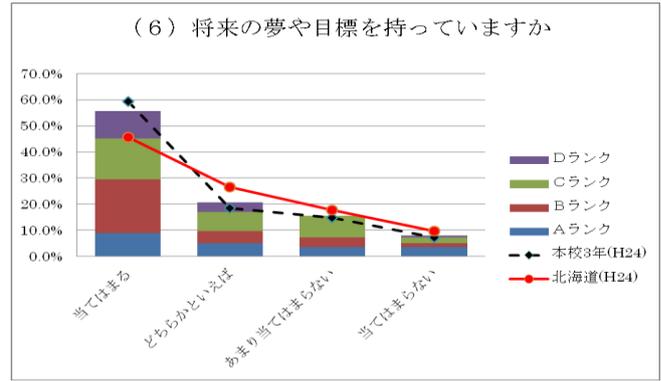
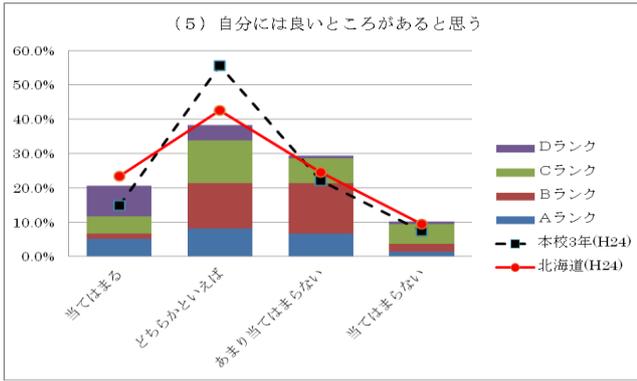
歴史のある校舎だけに老朽化が目立ってきました。特に「寒い学校!」というのが三者共に出ていた意見です。課題となっていた2階の温風暖房の風量バランスが悪いことから2年生教室が寒く、3年生教室暑いという指摘が多くありました。昨年秋に幾度か業者に依頼した結果、かなり改善されたと思われます。しかしながら、構造上廊下や体育館は寒い状況にあります。衣類等の工夫をして各ご家庭で寒さ対策をお願いします。

2. さらなる学力向上に向けて

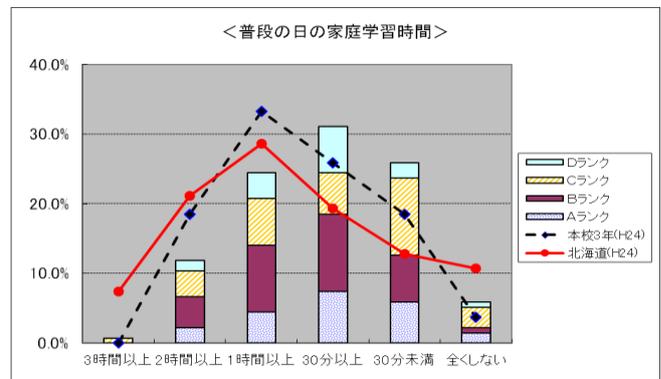
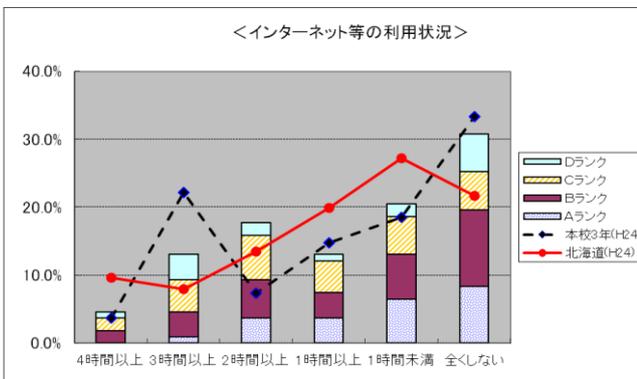
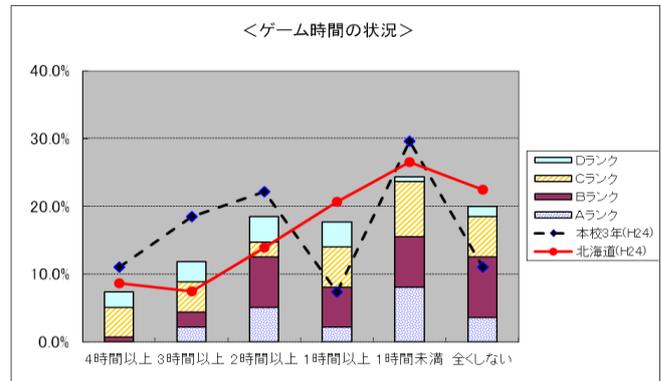
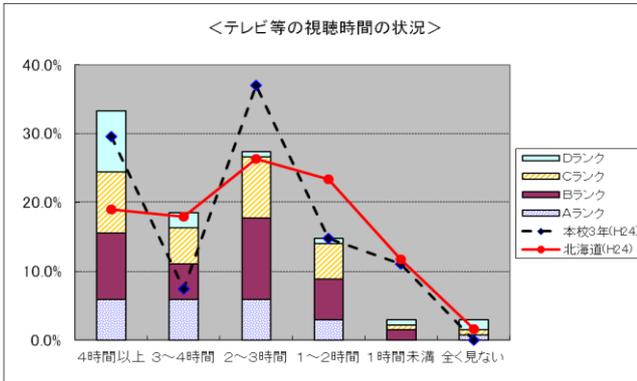
今年度も研修活動の充実や個々の教科の様々な工夫により「わかる授業」の展開に努めていますが、学力向上に向けた取り組みに、未だ多くの課題を残しています。改善に向けては、更なる教科経営のスキルアップに向けた研修の充実はもとより、「目的をもった学び」により近づけるために「キャリア教育」の在り方について再検討が必要と考えています。生徒一人一人が自分自身の未来をイメージできるよう、そのヒントを授けるのは身近にいる大人(家族や社会、学校教育の連携)の役割です。

また、より確かな成長を育むために日常生活サイクルの見直しも必要です。食事や睡眠時間、家庭学習の時間の確保、余暇の使い方など、何気なく時間を浪費してしまわない工夫が大切です。

下の図は、今年度および過去4年分の全国学力学習状況調査の結果を元にした資料です。



自分の夢や目標を持っている生徒は多いです。さらに、自分自身の良さを知ることや強調することでこれからの自分の未来に向けた努力に繋げてもらいたいものです。



テレビを3時間以上視聴する割合は、全国平均の1割強多い状況です。ゲーム関係に費やす時間は、3時間以上が全道比1.8倍(全国比2.6倍)になっています。また、インターネット等の利用についても3時間以上が全道比1.5倍(全国比2.0倍)という状況です。逆に、家庭で2時間以上学習すると答えた割合は、本校が18.5%であるのに対し、全道28.5%(全国35.3%)という結果です。

また、今年の国語では、読解力について課題が見られました。数学では、概ね全国を上回る状況ではありますが「図形」の苦手さが目立ちました。理科についても全国を上回っていますが「化学的領域」が弱点になっているようです。

3. 生徒指導について

全体的に落ち着いた雰囲気がありますが、さらに安心して生活しやすい環境を目指すには、日常的なあいさつやマナー等の指導、悩みや将来への不安などに対する相談活動などを充実することが重要と考えています。

4. 保護者・地域と学校の連携について

学校教育は家庭の理解や協力なしでは十分な効果が得られません。これからもお便りやブログ等活用し、情報発信や個々の家庭との連携を一層図り、地域の教育力の助けも借りながら生徒の健全育成に取り組んで参ります。